



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会  
**南区社協事務所(南区社会福祉協議会)**  
 福岡市南区塩原3-25-1 南区役所別館1階  
 TEL: 092-554-1039 FAX: 092-557-4068  
 Eメール: minamiku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会  
 マスコットキャラクター  
 ここと

# 誰もが暮らしやすいまちへ

## ～障がいへの理解、はじめの一歩～

宮竹校区

老司校区

### 障がいを知る体験型の研修

宮竹校区・老司校区では、今年度、ふれあいネットワーク(見守り活動)のボランティアを対象に、障がいのある方への理解を深めることをテーマとした研修を実施しました。講師には、社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会の下山いわ子氏をお招きし、福岡市の障がい者差別解消条例の内容についてご講義いただきました。

また、知的障がいや発達障がいのある方々の疑似体験を行ないました。物事の捉え方の違いや、周囲の配慮による感じ方や伝わり方の変化を体験することで、障がいの特性の理解を深めました。

研修の終盤には、下山氏ご自身が障がいのある息子を育てた実体験に基づいたお話もあり、思わず涙を浮かべる参加者も見られました。参加者からは、「とても分かりやすく、具体的な体験に基づいたお話だった」「知的障がいや発達障がいのある方に、優しい心で接していきたい」といった感想が寄せられました。



▲熱心に聞いています

高木校区

### 小学4年生が福祉について学びました!

高木小学校4年生の総合学習で、「目の不自由な方々への理解」をテーマにした福祉体験学習を行ないました。まず点字体験では、南区老司にある盲養護老人ホーム松月園の施設職員から点字の仕組みや読み方を学びました。その後、児童は点字器を使って自分の名前や質問等を打ち、実際に松月園に入居している方に、児童が打った点字を読んでもらいました。

最初は慣れない点字器に戸惑っていた児童も、入居者との関わりによって、少しずつ点字に親しんだようでした。

次に入居者から、趣味や普段の生活についてお話をありました。日常生活での困りごとや、盲導犬や周囲の人のサポートで助けられた経験等、貴重な体験談に児童たちは真剣に耳を傾けていました。

今回の体験を通して、児童たちはみんなが暮らしやすい社会について考え、自分たちにできることを探すきっかけを得ることができました。



▲打った点字を入居者に読みもらいました

# おもちゃ図書館「でんでんむし」

## ～おもちゃを通して障がいのある子ども、ない子どもを繋いで40年～

おもちゃ図書館とは、たくさんのおもちゃがある子どもの遊び場です。図書館で本を借りることができますように、おもちゃの無料貸出を行なっています。

おもちゃ図書館「でんでんむし」は、車いすの子ども達の居場所を作りたいという5人の保護者の思いから、昭和60年11月に開館しました。開館して今年で40年。おもちゃを通して障がいのある子ども、ない子ども問わず、遊びと成長の場を提供しています。

子どもたちは、たくさんのおもちゃに囲まれて楽しく遊び、保護者は保護者同士で情報交換や、悩みごとを相談する等、交流の場となっています。また、おもちゃを通じて、子どもたちが自然に交流し、互いを理解し合う場が生まれています。

西長住公民館を活用して、地域住民の方々の協力を得ながら活動を行なっていますが、大学のボランティアサークルとも連携しており、毎月学生がボランティアとして参加しています。

これからもおもちゃ図書館「でんでんむし」の活動を通じて、人と人がつながり、支え合う輪が広がっていくことを期待しています。

おもちゃ図書館「でんでんむし」

開館日：毎月第3土曜日

午後2時～4時

場所：西長住公民館



▲おもちゃがたくさん!



▲みんなの交流の場となっています

# 子どもと一緒に楽しく学ぶ！「認知症すごろく」で夏の勉強会

8月24日、弥永・弥永西校区にて、医療・介護等事業所ネットワーク「ほっとかれん隊」が、民生委員・児童委員の協力のもと、『夏カフェ ちよこっともの忘れ勉強会』を開催しました。

昨年度より「もの忘れ勉強会」と題して、地域住民向けに認知症について学ぶ機会を設けてきましたが、今回は夏休み期間中の開催ということで、子どもたちにも楽しみながら学んでもらえるよう、「認知症すごろく」を作成しました。このすごろくは、遊びを通じて高齢者のことや認知症について学べる内容になっています。

すごろくのマス目には、高齢者の心身の変化や認知症の症状、介護サービス・社会資源・相談先等が記載されています。また、途中には「ストップマス」があり、医療・介護の専門職が認知症の種類や介護保険申請について説明を行いました。「在宅か施設かを選ぶ」といった選択のマスもあり、子どもたちは高齢者の生活を具体的にイメージすることができました。

今後も「ほっとかれん隊」は、誰もが安心して暮らせる弥永・弥永西校区を、地域住民の皆さんとともに目指していきます。



▲楽しく勉強中!



▲認知症への理解が深まります

